

支援だより 第5号



県立金沢支援学校 連携支援グループ 地域支援チーム 令和6年3月

卒業式が終わり、在校生もいよいよ今年度のまとめの時期になりました。今年度最後の支援だよりは、小Bの起震車体験、STコラム、今年度の教育相談についてお伝えします。

起震車体験をしました

金沢消防署東富岡消防出張所の方に来ていただき、小学部B部門で起震車体験をしました。今回は震度5までの体験でしたが、大きな揺れを感じました。安全な体制で構えているの揺れでしたが、「立っていたら怖かったらうな。」、「物が落ちてきたり、倒れてきたりしたらもっと怖いだらうな。」などの想像もでき、貴重な体験ができました。

また、本校では普段から月に1回程度のシェイクアウト訓練も行ってきました。年度当初は事前に日時が知らされていた訓練から練習し、年度後半には細かい日時が知らされない訓練を行いました。地震はいつ何時起こるかわからないため、色々な時に様々な場所で訓練できたことで、その時どこに避難すればよいか、どのような体勢で身を守ることが安全なのかを考える機会になりました。子どもたちも、机の下にもぐることや、教員の指示で集まって頭を守るなど、避難も上手になってきています。

ないに越したことのない災害、起こってほしくない災害ですが、ご家庭などでも通勤通学中の災害、夜間や早朝の災害、日中の災害など想定してどこに避難するかを考えたり、備蓄品などの見直しをしていただいたりすると、万が一の場合にも少し落ち着いて行動できるかもしれません。



3月3日 耳の日

きこえにくさがある場合、補聴器等を使用することがあります。冬には寒暖差により、チューブやイヤモールド、補聴器や人工内耳本体の内部や外部に水滴がつくこともあり、故障の原因になることもあるので、注意が必要です。



補聴器等を使用していないけど聴こえに心配がある、片耳のみ聴こえにくさがあるなどといった場合も聴こえに対する配慮が必要になります。また、音が聞こえにくいだけでなく、音は聞こえるのに言葉は聴き取りにくいという症状や聴覚過敏がありイヤーマフやデジタル耳栓を使用しながら生活している方もいます。イヤーマフ等も日々使用しているものです。春休みには、補聴器等の点検やイヤーマフの汚れなどの確認をしていただけるといいかと思います。

今年度の教育相談

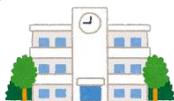
今年度も、校内外からの相談が多数ありました。校内の相談については、担任や学部の教員、専門職や養護教諭等、校内のいろいろな教員と一緒に考えたり、関係機関の方々と連携をとったりする中で、子ども達の支援を考えてきました。

また、校外からの相談については、地域の保護者や学校の先生方からのご連絡が多くありました。その中で、センター的機能として教育相談 CO が、地域の学校に子どもの支援と一緒に考えるために巡回相談に行ったり、研修会の講師の依頼を受けたりすることもありました。

次年度以降も、地域の特別支援教育センターとして、地域の子どもの支援にかかわっていけたらと思っています。

*巡回相談に行った学校

- 【金沢区】・六浦小学校 ・能見台小学校
- ・釜利谷小学校 ・金沢小学校
- ・西富岡小学校
- 【磯子区】・梅林小学校 ・杉田小学校
- ・洋光台第二小学校 ・浜小学校
- ・洋光台第二中学校
- ・汐見台中学校
- 【港南区】・南台小学校
- 【横須賀市】・船越小学校
- 《高校》・横浜明朋高校 ・釜利谷高校
- ・横浜立野高校



*研修会

- 《小学校》
- 「支援の必要な子どもの理解と適切な対応」
- 「教育のユニバーサルデザインと支援が必要な子どもの理解」
- 「はじめての進路」
- 「センター的機能と通常学級での支援」
- 《中学校》
- 「個別ケース会をやってみよう」
- 《自立支援協議会》
- 「性教育」
- 《放課後キッズクラブ》
- 「障害のあるこどもの理解と支援」
- 「チームでこどもにかかわる」



等